

2026.9 NEW OPEN AT TOFROM YAESU

B-OWND Gallery

プレスキット 2026

株式会社丹青社 | アート・工芸プラットフォーム

2026.7.15 Release

News Release

「B-OWND」、東京・八重洲「TOFROM YAESU」 1階に新ギャラリーを開設

～東京建物との連携により、アート・工芸・茶の湯・食・ポップカルチャーを
結ぶ新しい日本文化の体験拠点へ～

— B-OWNDとは MISSION & VISION



B-OWNDはアートとしての工芸の 世界アート市場における新しい価値形成を創造します

B-OWNDは、2019年に株式会社丹青社が立ち上げた、アート・工芸作品のプラットフォームです。工芸の「歴史性」と「時代性」を融合させ、新たな価値を創出することを目指し、アーティストと作品を丁寧に紹介するオンラインマーケット、ブロックチェーンによる作品の真正性担保、空間デザインの知見を活かした体験価値の創出JPや異業種との協働などを展開しています。B-OWNDは、「すべての人をアートの当事者に」というミッションのもと、アートを固定された枠組みから解放し、作品、作家、鑑賞者、空間、テクノロジー、文化が結び直される新たな関係性をデザインする「プロデュースの総合体」として活動しています。

運営：株式会社丹青社

丹青社は、「ここを動かす空間づくりのプロフェッショナル」として、店舗などの商業空間、博物館などの文化空間、展示会などのイベント空間等、人が行き交うさまざまな社会交流空間づくりの課題解決をおこなっています。調査・企画から、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出や運営まで、空間づくりのプロセスを一貫してサポートしています。

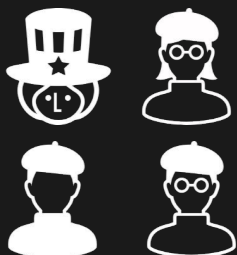
B-OWND事業概要



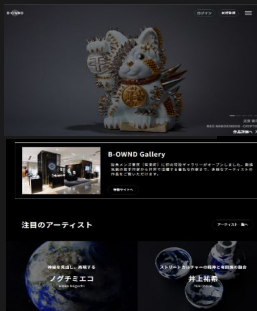
工芸領域における"付加価値プロデュース事業"

B-OWNDサービス一覧

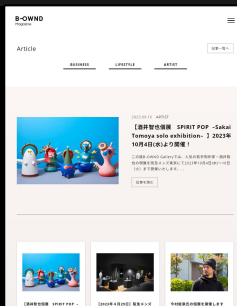
アーティスト
マネジメント



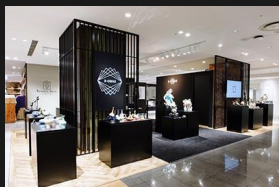
オンライン販売
(国内外)



メディア運営



ギャラリー運営



海外出展／販売



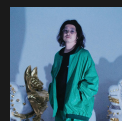
ブロックチェーンによる
作品証明書発行事業



工芸アーティスト多数在籍



四代田辺竹雲齋



古賀崇洋



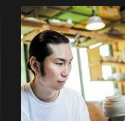
中村弘峰



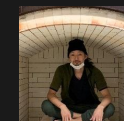
酒井智也



高橋賢悟



氏家昂大



今村能章



榎本佳子

IPコラボ実績



有力IPホルダーとの提携により、物語と工芸を融合させたアート作品をプロデュース

海外での出店及び販売



ベネツィア、マイアミ、NYC、ラスベガス、香港、上海、台湾、武漢など、多数の国と地域のアートフェアに出展。作品だけでなく、体験展示としてのアート茶会が好評



石上 賢

ISHIGAMI Ken

B-OWND プロデューサー

1992年、愛知県にて、画家の父、画商の母の元に生まれる。

10代からアート作品の販売をはじめる。国内芸術家の経済活動における困難さを目の当りにし、大学在学中よりアーティストのプロモーション活動を開始する。

アート作品のコンセプト立案、WEB・映像制作そして150を超える展覧会の企画等に携わる。国外では、ヴェネチア、ニューヨーク、香港、マイアミなどでの個展やアートフェアの企画販売の実績を持つ。アートに関する企画・プロモーション全般を行う(株)ART BASE PROJECTを設立。

2016年、(株)丹青社に入社後、これまでの経験を活かしアート工芸を中心とした日本の美意識と現代要素を掛け算した新規事業の開発に従事する。

2019年、アート・工芸×ブロックチェーンのプラットフォーム「B-OWND」を立ち上げ、プロデューサーに就任。アーティストのキュレーションをはじめとする本事業に関する戦略・企画を構想し、日本のアート・工芸作品の価値を高めることを目指している。

2024年、Forbes Japanが選出する世界を動かす文化起業家30人に選出

ビジョン:「日本から新しいルネサンスを興す」

〈 主なメディア掲載実績 〉

【掲載記事】読売新聞オンライン

日本の工芸の海外展開の可能性について考える「工芸シンポジウム2026 工芸は越境する～日本から世界へ、伝統から未来へ～」

【対談記事】Tokyo Art Beat

工芸アート:歴史と技とコンセプトを掛け算する。「B-OWND」が示す「戦い方」が日本の工芸史の新しい展開を開く

【対談記事】Forbes Japan

東洋から美のルネサンスを起こす「文化統合戦略」、文化と産業を結ぶ

【個人発信】note

東洋からネオルネサンスを興す -関係の美/スーパーコネクション-

— 新ギャラリー、日本の玄関口八重洲に開設



東京・八重洲から世界へ

～東京建物との連携により、アート・工芸・茶の湯・食・ポップカルチャーを結ぶ
新しい日本文化の体験拠点へ～

商業施設・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区
／代表取締役社長：小林統／以下、丹青社）がサービスを提供するアート・工芸作品
のプラットフォーム「B-OWND（ビーオウンド）」は、東京駅前・八重洲一丁目の大規模
複合施設「TOFROM YAESU（トフロム ヤエス）」内に、新たなギャラリー「B-OWND
Gallery」を2026年9月10日に開設します。

本ギャラリーは、B-OWNDが2023年より展開してきた常設ギャラリーで培った、アート
としての工芸作品と鑑賞者をリアルにつなぐ取り組みを発展させるものです。
B-OWND参加アーティストによる作品の展示・販売に加え、茶の湯を現代に再解釈する
株式会社TeaRoomとの協働による茶会や抹茶コラボ商品開発、TOFROM YAESU
の再開発組合の一員として参画する東京建物株式会社と連携したまちづくり・コミュニ
ティ施策を展開します。



画像：TOFROM YAESU

— ABOUT TOFROM



「人・時・場をつなぐ」

東京駅にほど近い八重洲は、古くから人の往来が絶えない街として、さまざまな文化や価値観が交わる“入口”の役割を果たしてきました。

かつて舟運や街道の結節点として栄え、のちに商いの街として発展したこの地には、都市の歴史とともに培われた気風が、今も静かに息づいています。

TOFROM YAESUは、その記憶を大切に受けとめながら、現代の都市が求める多様な機能と豊かな滞在価値を重ね合わせることで、新しい八重洲の姿を紡ごうとする施設です。

オフィスや商業の集積に加え、交通、医療、文化といった異なる要素が、ひとつの街区の中でゆるやかに響き合い、過去と未来、日常と非日常をつなぐ“都市の余白”が生まれていきます。

変わり続ける東京の中心で、変わらずに受け継がれてきた八重洲らしさを、あたらしいかたちへ。歴史に学びながら、人と価値が交差する結節点として、この場所は新たな出会いと創造を生み、次の時代の都市のあり方を静かに描き出していきます。



画像: [TOFROM YAESU](#)

— 新ギャラリーコンセプト



B-OWND Galleryは単なる「売り場」ではなく、作品と人が関係を結ぶ「居場所」です

「B-OWND Gallery」は、単なる作品販売の場ではなく、作品を起点に人が集い、体験し、語り合うことで様々な要素が関係を結ぶ居場所を目指します。

また、B-OWNDの活動が国内外で提示してきた「NEO WABI-SABI」や「関係の論理」の思想を、ギャラリー体験全体に反映します。日本固有の美意識や伝統を固定化された過去のものとして扱うのではなく、現代の都市生活、テクノロジー、食、茶、ポップカルチャーと交差させることで、今を生きる人々にひらかれた新しい文化体験へと更新します。



空間コンセプト



空間デザインコンセプトは、「無作為と本物性」。
従来のギャラリーに多いホワイトキューブではなく、数寄屋大工の技術や、木骨・竹小舞など日本の木造建築の原初的要素を再現した設えを、現代の都市建築の中に挿入します。作家の創造性を過度に演出するのではなく、静かに受けとめる背景として機能しながら、素材、手仕事、光、余白によって、鑑賞者の感度が高まる空間をつくります。
無表情なホワイトキューブ空間が多いギャラリー市場の中で、あえて空間に主張を持たせ『原始的な日本空間』で新しい工芸の再価値構築を支援していきます。

デザイナー 上垣内 泰輔

株式会社丹青社 デザインセンター プリンシパル クリエイティブディレクター

1988年入社後、飲食店の空間設計からキャリアをスタート。ファッションビル、複合商業施設の空間ディレクションや、海外の大型展示会パビリオンなどを手がけたのち、2015年、丹青社品川新本社の設計をディレクション。田園都市線 2020系の車両デザインを担当するなど、分野を超えて幅広くチャレンジを続けている。



— ギャラリーの3つの特徴



01

B-OWND参加アーティストの 作品を展示・販売

B-OWNDに参加するアーティストの作品を企画、展示し、現地で販売します。陶芸、金工、竹工芸、人形、ガラス、漆など、工芸の技術と素材を背景にしながら、アートとしての表現に挑む作品を紹介。作品の背景にある思想や制作プロセスもあわせて伝えることで、鑑賞者とアーティストを丁寧につなぎます。

02

企画展・個展・グループ展を 年間を通じて開催

B-OWND参加アーティストによる個展、複数作家による企画グループ展、国内外のIPやアートシーンと連動した特別展示を開催。ヴェネチアで開催する企画展『Relational Logic』の思想や参加アーティストの表現も踏まえ、工芸・現代美術・茶の湯・ポップカルチャーが交差する展示を予定しています。

03

東京建物との連携による、 八重洲のまちにひらかれた文化拠点

TOFROM YAESUのコンセプト「人・時・場をつなぐ」と呼応し、東京建物との連携によりギャラリーを運営。多様な人々が出会い、対話し、新しい価値を生み出す場を目指します。アフターファイブも活用し、コミュニティ形成の場として八重洲のまちにひらいていきます。

1 階3店舗の連携

-B-OWND・MATCHAMON・IMADEYA-



3店舗の連携を後日配信予定

MATCHAMON

MATCHAMONは「日本発のグローバル抹茶ブランド」として、日本国産にこだわったトップクオリティーの茶葉を取り入れ、世界へ届けることを使命に誕生しました。生産国である日本だからこそ、その素材を最もおいしいかたちで表現することを使命としています。使用する抹茶は、国際的な品質基準を満たした日本産のみ。有機抹茶の一次生産者と直接提携し、栽培・収穫から商品企画までを一貫して手がけます。メニュー開発では、フルーツメニューも含め、味覚の相性と、抹茶本来の色・香り・旨みを最大限に引き立て合う組み合わせのみを採用しています。伝統を受け継ぎながら、現代のライフスタイルへと再構築する。それが、MATCHAMONが世界へ提案する新しい抹茶体験です。



IMADEYA KAKU-UCHI TOKYO

酒屋 IMADEYA による新感覚の角打ち。全国の銘酒をグラス 1 杯から気軽に飲み比べでき、気に入ったお酒は購入も可能。日本の旬を凝縮した絶品創作おつまみをお供に感動の味わいをご堪能ください。

— 展示・イベントスケジュール



日程	内容	詳細
2026年9月7日	メディア向け内覧会	①9:00~10:30:テレビクルー限定撮影時間 ②11:45~15:30:自由内覧時間 ③16:00~18:00:特別招待者向け時間
2026年9月8日	関係者向け内覧会	①10:00~18:00:自由内覧時間 ②18:00~:テナントレセプション
2026年9月10日	グランドオープン/古賀崇洋個展	グランドオープン/古賀崇洋個展 陶芸家・古賀崇洋のこけら落とし個展。 ヴェネチアビエンナーレ凱旋として初の国内展 示。
2026年10月2日	ウルトラマンシリーズ ×B-OWND コラボレーション展示	ウルトラマンシリーズ 60周年特別企画。 B-OWNDアーティストとウルトラマンシリーズのコ ラボレーション
2026年10月16日	酒井智也個展	陶芸家・酒井智也の個展。ヴェネチアビエンナー レ凱旋として初の国内展示。

メディア向け内覧会についてのお問合せは info@b-ownd.comまで

— 新ギャラリー概要

施設名称 B-OWND Gallery

所在地 〒103-0028 東京都中央区八重洲一丁目9番1号 TOFROM YAESU TOWER 1F

オープン予定日 2026年9月10日

営業時間 11時～20時 月曜定休

面積 約95m²

主催・企画 株式会社丹青社

店長 LEE CHAEUN (イ・チェウン) 連絡先: chaeun@tanseisha.co.jp

所在地: 〒108-8220 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス19F

創業: 1946年10月

資本金: 40億2,675万657円

上場: 東京証券取引所プライム市場(証券コード: 9743 / 業種名: サービス業)

URL: <https://www.tanseisha.co.jp.co.jp>

Brand Assets

ロゴ・画像素材・過去実績記事

高解像度画像データ

店舗外観・内観・ロゴデータ

過去実績記事

阪急メンズ東京にギャラリーをオープン

2023年、2024年マイアミにて世界最大級のアートフェア「SCOPE」出展

関西万博

ヴェネチア・ビエンナーレの公式サテライトイベント出展

【JDN】

世界最古の美術展「ヴェネチア・ビエンナーレ2026」に挑む—B-OWNDが世界に提示する美の基準とは？

ブランドサイト・B-OWND Gallery公式サイト・オンラインマーケット

B-OWND Gallery公式サイト

ブランドサイト

公式オンラインマーケット



プレスキット素材ダウンロード

店舗外観・内観・ロゴデータ

■ 本リリースに関するお問合せ先



株式会社丹青社 広報室

担当: 石綿、寺戸

Mail: pr-staff@tanseisha.co.jp

Tel: 03-6455-8115

お問い合わせフォーム: <https://www.tanseisha.co.jp/contact>

※掲載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。